

2022（令和4）年度 総合型選抜

# 小論文

芸術文化観光専門職大学

芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

## 注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに1ページあります。
3. 問題は1題あります。
4. 解答用紙は1枚あります。
5. 各解答用紙には氏名及び受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄（氏名、受験番号各々1箇所）に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は1マスに1字ずつ記入してください。たとえば、10は2マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. この問題冊子のほかに、資料冊子が1部あります。
11. 下書き用紙は1枚あります。
12. 解答時間は90分です。
13. 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。
14. 試験終了後、資料冊子は回収しますので、持ち帰らないでください。

## 問題

グループワークでを使用した文章（資料冊子に掲載されています）は、実は弁護士と教員が「法教育」のためにつくった課題を大きく加筆修正したものです。原文では、保護者ではなく生徒が直接、民事調停を依頼する形になっています。

民事調停とは、裁判のように勝ち負けを決めるのではなく、話し合いによりお互いが合意することで紛争の解決を図る手続です。

調停手続では、一般市民から選ばれた調停委員が、裁判官とともに、紛争の解決に当たっています。

資料冊子の、弁護士と生徒のやりとりも踏まえ、もう一度、自分で調停案（「主文」と「説明文（主文の理由）」）を考えて記し、さらに「どうして、その理由に至ったかなど」も含めて、640字以上800字以内にまとめてください。

弁護士が取り上げていない事柄、重要な要素もいくつかあります。文章をよく読んで、自分なりの考えをまとめてください。